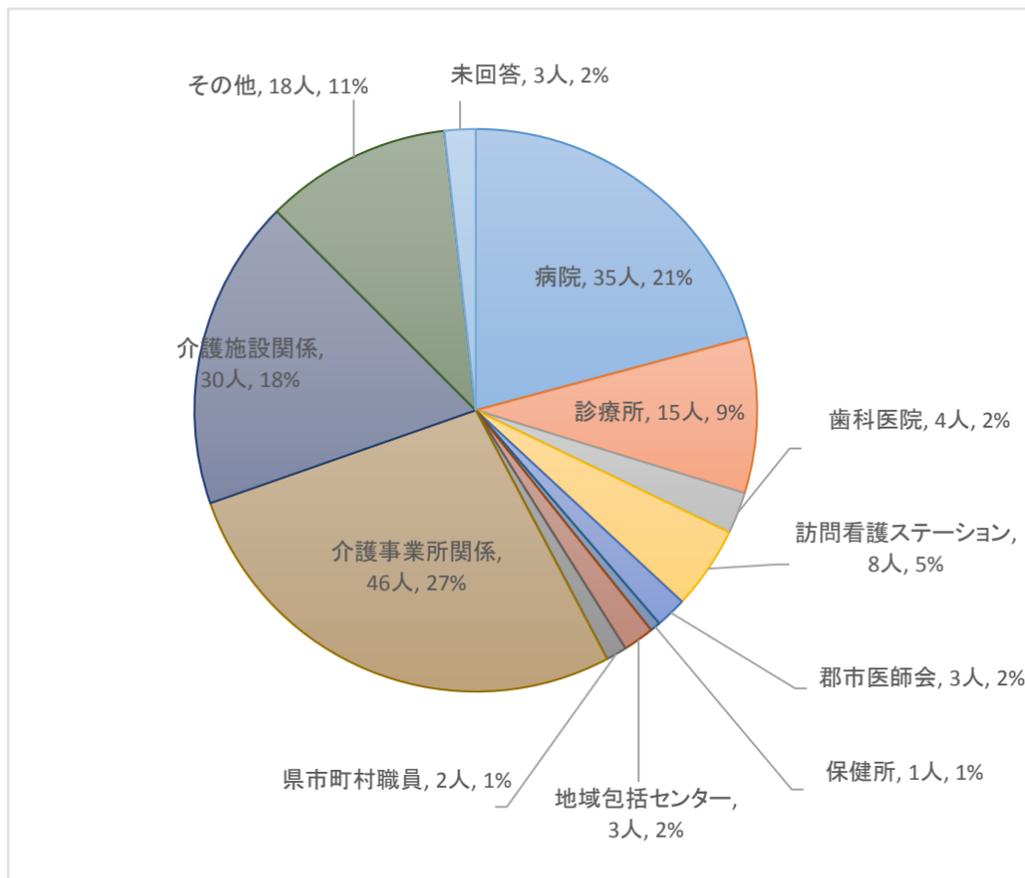


平成25年度 鹿児島県医師会在宅医療提供体制推進事業

第2回在宅医療関係職種の技術向上のための研修会 アンケート 回答者総数166名 回答率94%

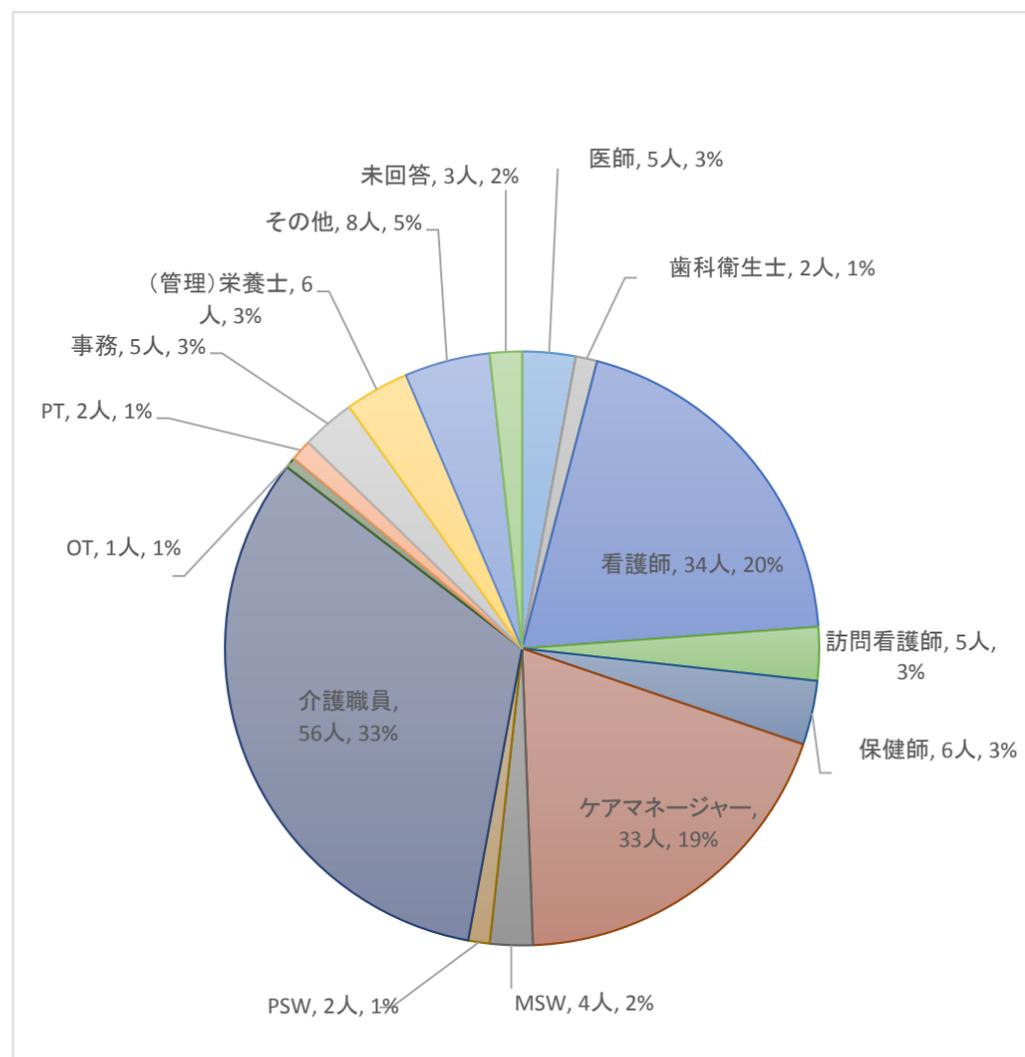
所属 複数回答あり

病院	35人	21%
診療所	15人	9%
歯科医院	4人	2%
訪問看護ステーション	8人	5%
郡市医師会	3人	2%
薬局	0人	0%
保健所	1人	1%
地域包括センター	3人	2%
県市町村職員	2人	1%
介護事業所関係	46人	27%
介護施設関係	30人	18%
その他	18人	11%
未回答	3人	2%
	168人	



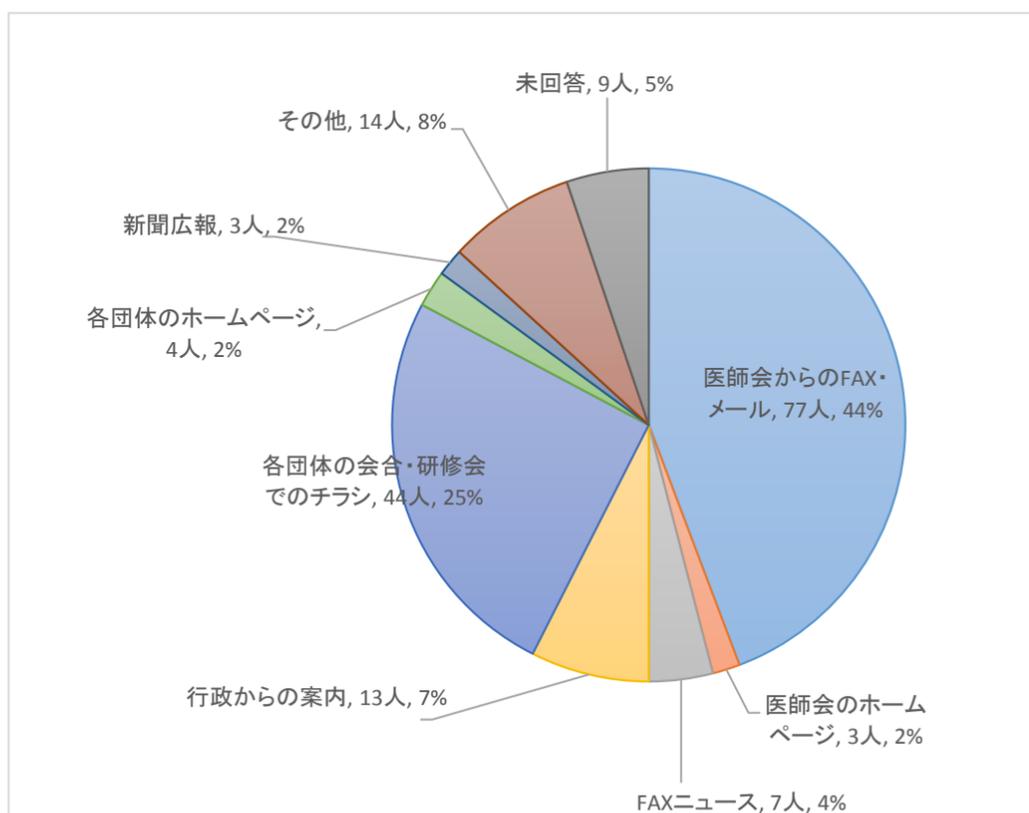
職種 複数回答あり

医師	5人	3%
歯科医師	0人	0%
歯科衛生士	2人	1%
薬剤師	0人	0%
看護師	34人	20%
訪問看護師	5人	3%
保健師	6人	3%
ケアマネージャー	33人	19%
MSW	4人	2%
PSW	2人	1%
介護職員	56人	33%
OT	1人	1%
ST	0人	0%
PT	2人	1%
事務	5人	3%
(管理) 栄養士	6人	3%
その他	8人	5%
未回答	3人	2%
	172人	



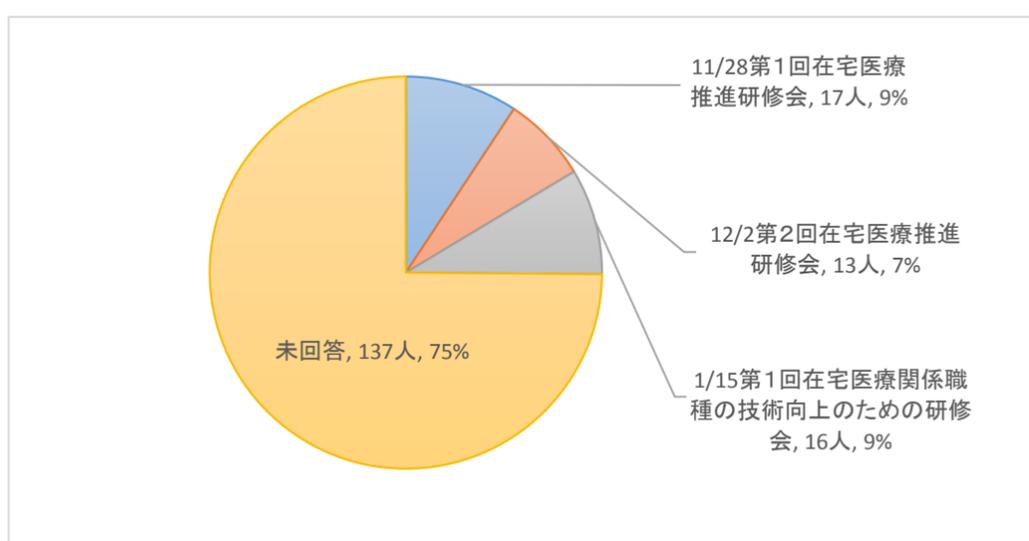
1 今回の研修会はどのようにしてお知りになりましたか。(複数回答可)

医師会からのFAX・メール	77人	44%
医師会のホームページ	3人	2%
FAXニュース	7人	4%
行政からの案内	13人	7%
各団体の会合・研修会でのチラシ	44人	25%
各団体のホームページ	4人	2%
新聞広報	3人	2%
その他	14人	8%
未回答	9人	5%
	174人	



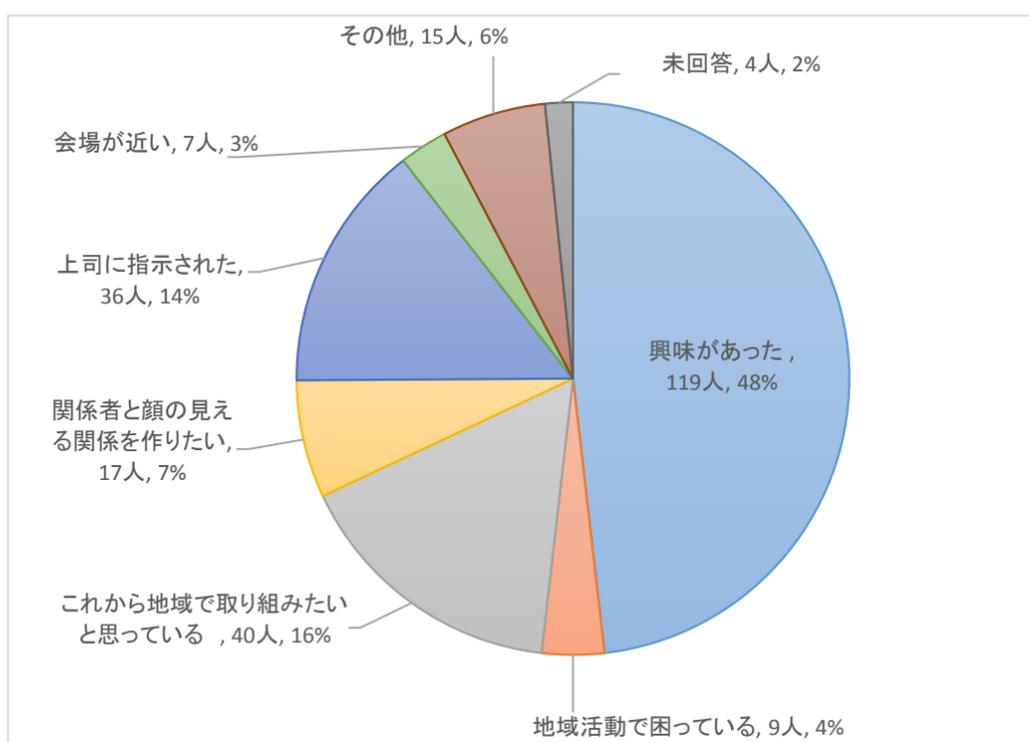
2 県医師会が主催する在宅医療推進研修を受講されたことがありますか。(複数回答可)

11/28第1回在宅医療推進研修会	17人	9%
12/2第2回在宅医療推進研修会	13人	7%
1/15第1回在宅医療関係職種の技術向上のための研修会	16人	9%
未回答	137人	75%
	183人	



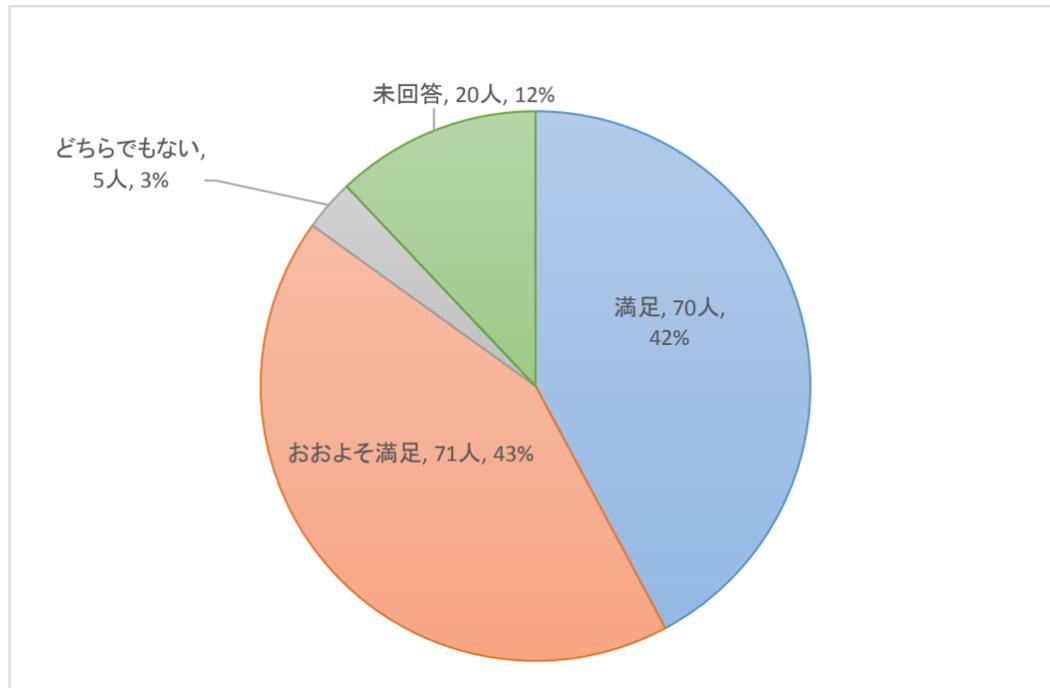
3 研修会に参加しようと思われたきっかけは何ですか。(複数回答可)

興味があった	119人	48%
地域活動で困っている	9人	4%
これから地域で取り組みたいと思っている	40人	16%
関係者と顔の見える関係を作りたい	17人	7%
上司に指示された	36人	15%
会場が近い	7人	3%
特にない	0人	0%
その他	15人	6%
未回答	4人	2%
	247人	



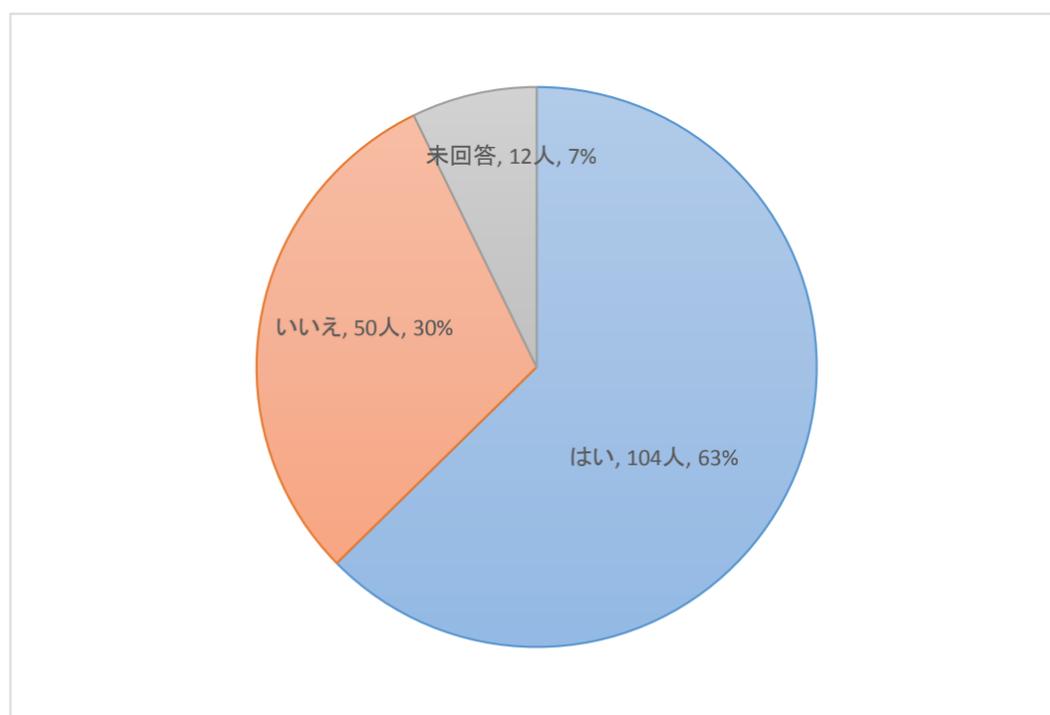
4 本日の研修内容はいかがでしたか。(1つのみ回答)

満足	70人	42%
おおよそ満足	71人	43%
どちらでもない	5人	3%
どちらかといえば不満	0人	0%
不満	0人	0%
未回答	20人	12%
	166人	



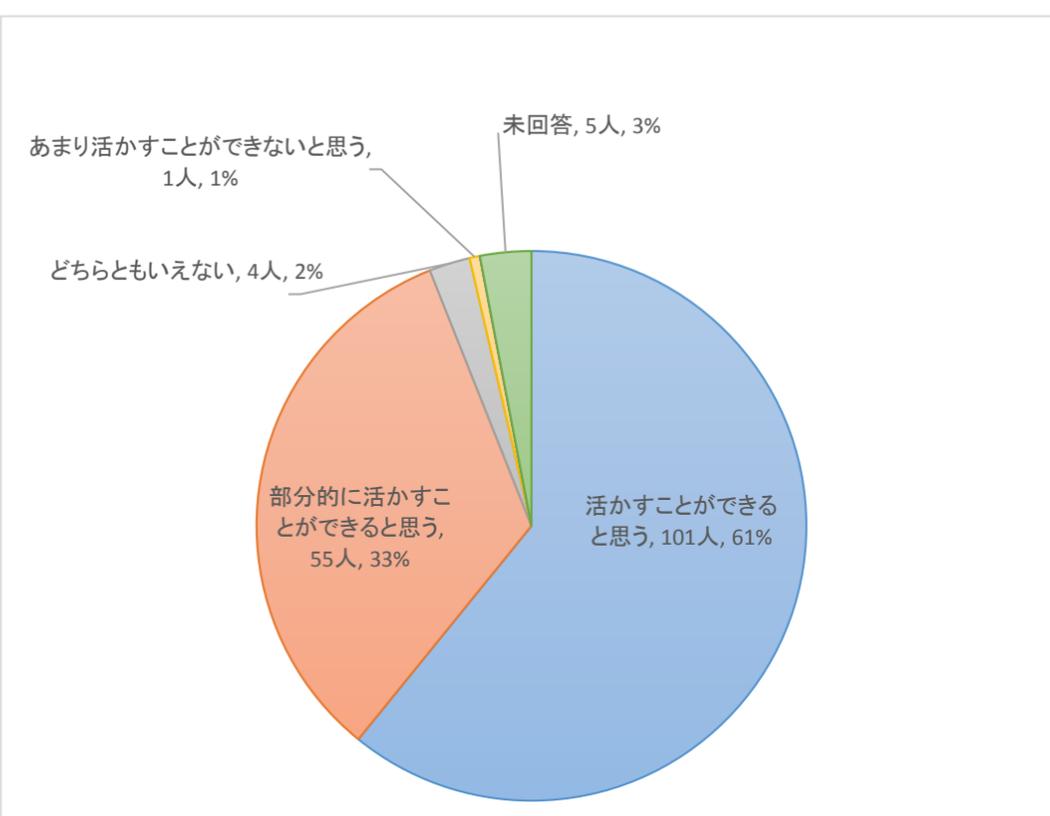
5 あなた、またはあなたの職場は、現在 在宅医療において多職種連携に取り組まれていますか。(1つのみ回答)

はい	104人	63%
いいえ	50人	30%
未回答	12人	7%
	166人	



6 本日の内容は、今後日常業務に活かすことができそうですか。(1つのみ回答)

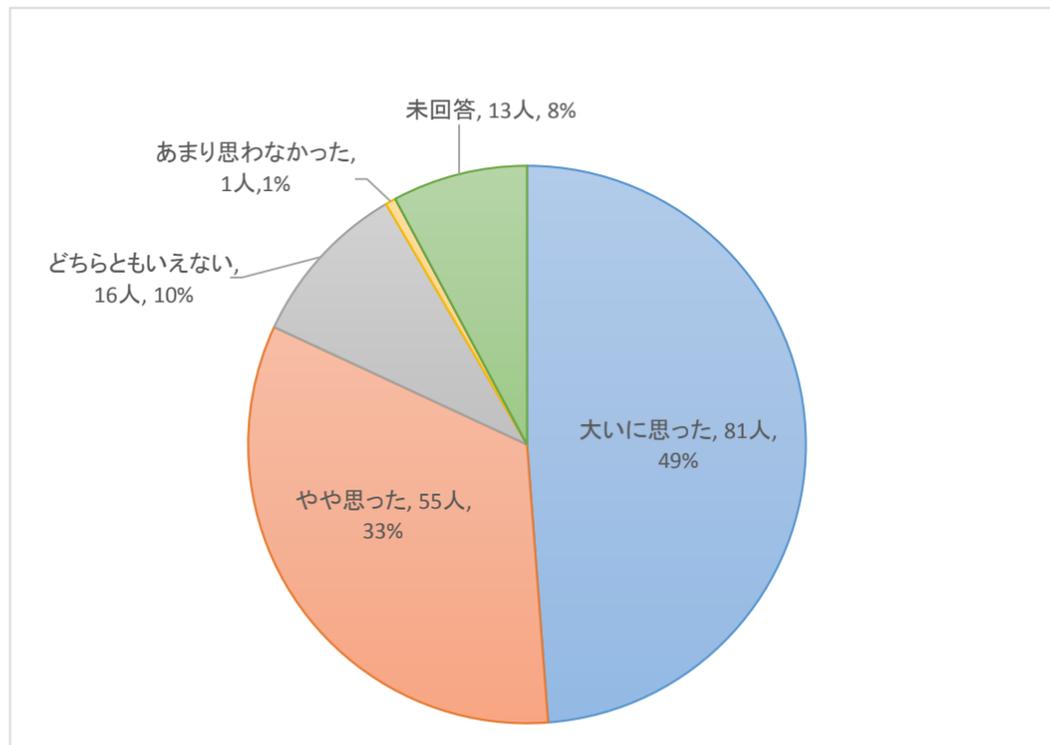
活かすことができると思う	101人	61%
部分的に活かすことができると思う	55人	33%
どちらともいえない	4人	2%
あまり活かすことができないと思う	1人	1%
全く活かすことができない	0人	0%
未回答	5人	3%
	166人	



7 本日の研修会を通して、今後在宅医療や連携に取り組もうと思われましたか。(一つのみ回答)

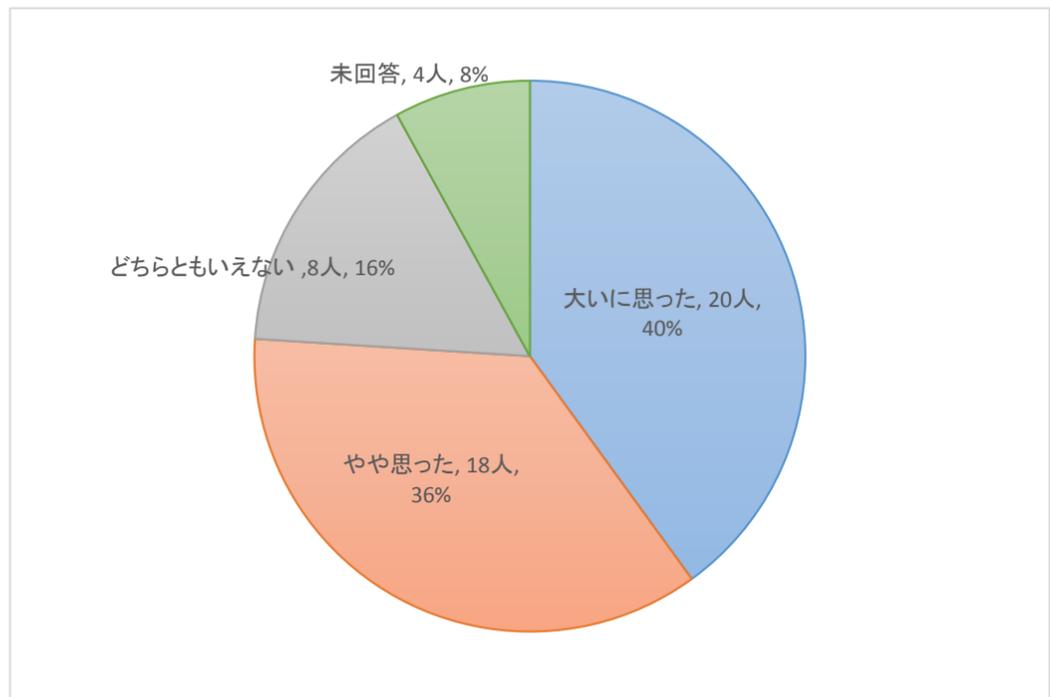
(1) 全体

大いに思った	81人	49%
やや思った	55人	33%
どちらともいえない	16人	10%
あまり思わなかった	1人	1%
全く思わなかった	0人	0%
未回答	13人	8%
	166人	



(2) 「5 あなた、またはあなたの職場は、現在 在宅医療において多職種連携に取り組まれていますか。」で「いいえ」と回答した人

大いに思った	20人	40%
やや思った	18人	36%
どちらともいえない	8人	16%
あまり思わなかった	0人	0%
全く思わなかった	0人	0%
未回答	4人	8%
	50人	



9 いただいたご意見・ご感想(一部抜粋)	職業
・アルツハイマー、レビー、前頭側頭葉～、それぞれの違いによる薬物的アプローチ、非薬物的アプローチの有効性の違いが非常に為になった。	介護職員
・服薬の件は勉強になりました。医師が出した薬剤に対して家族で相談するのは現在難しい所があります。本人に対して医師の対応が悪くなることを心配されています。	介護職員
・地域の医療不足や医師不足で大変苦労しています。在宅医療は必要不可欠だと思います。	ケアマネージャー
・とても分かりやすかったが、もう少し時間が欲しかった。	介護職員
・認知症といっても1人1人、症状が違い、アプローチ方法も違う。チーム連携でのモニタリングが重要だと感じた。人が人らしく生きるという当たり前の生活を提供する為に、理解や尊重という点に気を付けながら生活支援を行いたいと思います。	介護職員
・認知症について正しく理解できていない人が多い。私自身その中の一人だと思った。認知症の人が苦しむ必要はないはず。	介護職員
・とても分かりやすく、仕事をしている中で「あーそういうことだったのか」ということも多々あった。大変勉強になりました。	看護師
・勉強を通して多職種との連携がとても大切だと痛感しました。とてもいい勉強になりました。	ケアマネージャー
・中野先生の講演はとても分かりやすく勉強になりました。今、関わっている人、関わった人のことを思い出しながら、自分の行っていたケアを振り返り、反省する点がありました。またゆっくりと講演を聴きたいです。	保健師
・医師（かかりつけ医を含む）がもう少し家族に寄り添って下されば介護者のBPSDに対する負担が軽減するのではないのでしょうか。	未回答
・外来患者でも現在認知症の方が多く、在宅での生活が困難な方々に少しでも助言できるような研修会でした。ありがとうございます。	看護師
・一つ一つの認知症に対して細かく説明していただき、とてもわかりやすく参考になりました。職場に持ち帰って情報共有をしたいと思います。	看護師
・在宅における認知症患者の介護はまだまだ多くの問題にぶつかります。	看護師
・認知症を発症した時は絶望にならず、これからの人生をどう生きるか考えることが大切だと思った。	看護師